

2024年1月18日

## 自然関連財務情報開示タスクフォース（TNFD）の提言への賛同を表明

日立造船株式会社は、自然関連財務情報開示タスクフォース（Taskforce on Nature-related Financial Disclosures、以下、TNFD）が2023年9月に公表した情報開示提言に、このほど、賛同を表明しました。

また、現在開かれている第54回世界経済フォーラム年次総会（ダボス会議、2024年1月15～19日）において、TNFD事務局より、当社を含むTNFD Early Adopters リストが公表<sup>※1</sup>されています。

当社グループは、2050年にあるべき社会を実現するために目指す究極の姿である「サステナブルビジョン」で、①環境負荷をゼロにする②人々の幸福を最大化する——ことを掲げており、その実現のための施策として「7つの成功の柱（マテリアリティ）」を設定しています。

このうち、自然資本とのかかわりが深い「資源の完全循環」や「環境復元力の最大化」、さらに「災害激甚化への対応」や「サステナブル調達」が、TNFDの提言と合致しています。

当社グループは、2021年に賛同を表明した「気候関連財務情報開示タスクフォース（TCFD）」提言<sup>※2</sup>とあわせて、ネイチャーポジティブ<sup>※3</sup>の実現に向けた取り組みを推進していきます。



Taskforce on Nature-related  
Financial Disclosures

（※ご参考）

※1 TNFD Early Adopters 登録者リスト

<https://tnfd.global/engage/inaugural-tnfd-early-adopters/>

※2 TCFD 提言への賛同表明に関する当社リリース（2021年4月20日）

[https://www.hitachizosen.co.jp/newsroom/news/release/2021/20210420\\_000802.html](https://www.hitachizosen.co.jp/newsroom/news/release/2021/20210420_000802.html)

※3 自然生態系の損失を食い止め、回復軌道に反転させることを目標とする考え。

（終）